

「ポスト『京』で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題（案）」についての意見

6月19日に提示されました標記案につきまして、協議会内部で検討いたしました。産業界の立場からは、「京」の戦略分野における「ものづくり」から、ポスト「京」では「産業競争力の強化」全体が1つのカテゴリに位置づけられたことにより、「京」およびポスト「京」の産業利用に拍車がかかるものと大いに期待を寄せるところです。

但し、以下の三点については再度のご検討をお願いしたいと考えております。

1. カテゴリ「産業競争力の強化」に対する意見

重点課題⑦「社会の発展を支える高機能物質・材料の創成」の事例は、殆どが半導体とハードマテリアル関係で占められ、素材産業の競争力強化に不可欠な機能性化学品の分野が欠落しております。「機能性化学品の研究開発」を課題に明記いただきたくお願いします。

また、重点課題⑧「近未来型ものづくりを先導する革新的設計プロセスの開発」ですが、ものづくりの革新では、設計のみならず、製造プロセスの革新が大きな要素となっており、製造コストを如何に抑えて短納期で製品を量産できるかが、産業競争力を左右いたします。そのため、「製造プロセスの革新」を課題に明記いただきたいと思います。

2. 成果創出に向けての産業界の関わり方

国民目線で「成果創出」を考えた場合、研究成果の発表に留まらず、その成果が我が国の国際競争力強化や国民へのサービスに反映され、社会に還元されることで初めて成果創出と認識されるものと思います。このため、(純粋科学や国家視点での環境・防災を除いた)全ての課題において、課題選定やアプリケーション研究開発の段階から、産業界としても深く関わらせていただき、産官学共同により成果創出に当たりたいと考えております。

5月30日に示されました「ポスト『京』におけるアプリケーション開発・研究開発推進体制」においては、成果の社会還元に向けた意見具申機関としての産業界の立場を明確にしていただきたいと考えます。

3. ポスト「京」の早期実現と第二階層以下のあり方に関する議論の開始

産業界として、ポスト「京」は現在の計算資源では成し得ない実証実験のテストベッドであり、産業競争力維持の観点からも、一刻も早い実現を大いに期待するものであります。一方、その成果を発展させ、プロダクトランとして定常的にHPCを活用することで、真の意味での利活用を促進することを考えた場合、第二階層以下のHPCIシステムの具体的あり方も並行して議論し、両者の密接な連携を作る必要があると考えます。

従いまして、第二階層以下のあり方についても早期に議論を開始し、課題毎にポスト「京」と第二階層以下の連携のあるべき姿を検討していくことを提言いたします。

添付資料：重点課題⑦の修正案